



日刊労働千葉

国鉄千葉労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(労働車会館)
電話 (鉄道) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

90.3.14

No. 3179



動労千葉、国労組合員で包囲された本社(3/12)

JR東日本旅客、貨物、清算事業団本部へ 本社抗議行動に起つ

三月十二日、各支部から結集した一〇〇名の部隊で、JR東日本旅客、貨物両本社と清算事業団本部抗議行動に決起した。

東京駅改札口をみるとすぐ目の前が本社である。我々が到着すると、すでに本社前は国労の“抗議団”でうずめつくされていた。動労千葉の部隊は五〇〇人、二〇〇名の国労組合員の注目と拍手の中、本社入口まで部隊で移動し入口正面に陣

取り、即座にゼッケン・はちまきで身をつつみ“集会

を開始する。

入口には、地労委が当局に命令した“謝罪文”が堂々と掲げられる。それを

取り、即座にゼッケン・はちまきで身をつつみ“集会

ギッパリと 三月決戦アートを宣言

動労千葉、國労組合員で包囲された本社(3/12)

のこもったシユブレヒコー
ルと、圧倒的多数の労働者
で本社は“包囲”されたの
である。

乱立する真紅の旗、気迫
わわれの迫力の前に手出
しはできない。

清算事業団労働者を虫ヶ
ラ同然に首を切ろうとする
のだ。

なかには外国人もまざつて
いる。読み終わってから組
合員に、「がんばれ」と声
援を送る人もいる。庁舎前
でピケをはつている当局は、
にがにがしい顔でこうした
光景を見ている。しかし、
われわれの迫力の前に手出
しはできない。

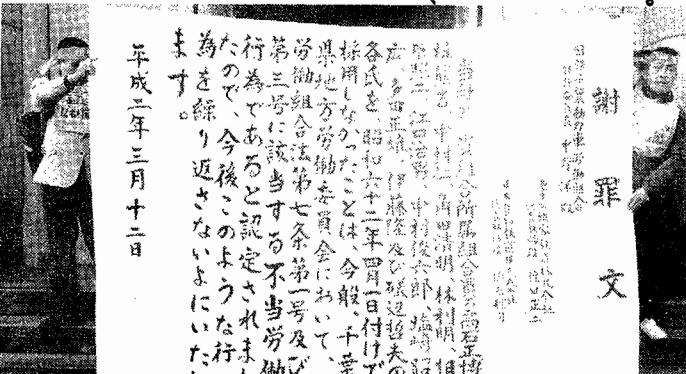
特に「労働委員会への全
面依存ではなく、自力・実
力で仲間を奪還しよう。J
R総連革マルと対決し三月
ストライキも貫徹」の訴え
には国労の中からも拍手や
「ヨーリ」といったかけ声
があがる。今日の行動は全
国から集まつた国労組合員
に檄を発した点でも意義深
いものがあった。

そのド真中で山田組織部
長、水野動労総連合委員長、
田中書記長が次々と力強く
アジテーションを開く。
労組交流センターの仲間も
駆けつけ、代表して出労連
の三角氏と、スラバ、自主の
仲間から熱い連帯の挨拶を
受けた。

五時から場所を国労と入
れ変わって、正面入口を中心
にビラまきにうつて出る。
ビラ隊のまわりは動輪旗
が旗めいている。その中を、
数百・数千人がビラを手
に、東京駅に吸い込まれて
最後に、本社にむけてシ
ュブレヒコールをたたきつ
つた。

共に行動に参加。ビラは見
る見るうちに、配りきつた。
おりからの強風で寒さも
ト貫徹の決意に満ちていた。
最後に、本社にむけてシ
ュブレヒコールをたたきつ
つた。

体制を築くため全力でがん
ぱりぬくことを確認し終了



清算事業団の仲間をとりもどそう

第22回定期委員会へ

- 日 時 ① 3月15日 13時から
 - 場 所 ② 県教育会館
- 全力で傍聴労働員体制を